

【資料3-2】(別紙2) 機能仕様要件対応可否一覧

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
1	1 システム全般		①Webシステムであること。
2			②システム形態は、オンプレミス型（学内にサーバを設置）であること。
3			③データベースは、学務系システムとポータル系システムで分かれていること。
4			④ブラウザからの利用を基本とし、利用者端末にソフトウェアのインストールは不要とすること。（Office製品は除く）
5			⑤本学からのカスタマイズの要望に対応できること。
6			⑥利便性を図るため、データベースの中身が利用者に公開されていること。また、受託者は本システムのデータベースの構造等仕様を明記した資料を納入時に本学に提供すること。
7			⑦学生のプライバシーに関するデータを扱うため、セキュリティの確保や個人情報の保護に十分配慮したシステムであること。また、通信においてもSSL2.0、SSL3.0またはTLS1.0により保護措置ができること。
8			⑧マスターテーブル、データ等（データ及びプログラム設定ファイル）のバックアップ機能を有し、誤動作、ハードウェアの故障によりデータ等が破壊された場合、速やかに復旧できること。
9			⑨LDAP認証ができること。
10			⑩メニューパターンを登録し、それぞれ利用機能を設定できること。
11			⑪IR分析機能を拡張できるよう自社製品として保持していること。
12			⑫3.5保守要件に示す保守・運用サポートに対応できること。
13	2 学務システム	基本要件	①Microsoft Internet Explorer 11ですべての操作が行えること。
14			②データベースの日本語ビューがすべて提供されること。
15			③UNICODE（UTF-8）に対応していること。
16			④ポータルシステムのサーバとは別であること。
17			⑤データ移行の検証は、同一サーバ内に本番（運用）環境以外のテスト環境を構築して行うこと。
18			⑥各種申請業務や連絡業務に電子メールを活用し、業務処理の効率化とペーパーレス化を図るため、帳票に関してCSV、Excel及びPDFによる出力が可能なこと。また、一括出力時には、CSVの並び順が自由に変更可能で、パターン化でき、パターン化した項目を他の職員とも共有できること。
19			⑦データ入力、画面からの直接入力以外に外部記録媒体にテキスト形式やCSV形式等で作成したデータによる一括入力が可能なこと。また、一括入力時には、CSVの並び順が自由に変更可能とし、パターン化できること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
20			⑧本学独自で管理したい項目について、パッケージに備わっている項目以外にも項目を自由かつ複数設定できる機能を標準で有していること。また、テキスト項目だけでなく、マスタ化したデータから選択して登録することも可能であること。
21			⑨学部・学科増設、改組について、パッケージの標準機能で柔軟に対応できること。
22			⑩すべての機能についてマニュアルが揃っていること。
23			⑪データベース、CSV項目の一覧が揃っており、データベース構造を公開すること。
24			⑫学生情報の参照権限について、職員、教員などのユーザグループ毎に参照権限を分けられること。
25			⑬操作性に十分な配慮がされ、ヘルプ機能により初心者にも分かり易く構成されていること。また、ヘルプ機能はパッケージ標準以外に本学独自ヘルプも保持できること。
26			⑭メニューパターンを登録し、それぞれ利用機能や期間を設定できること。権限を制限することで、メニュー単位でボタン、タブなど画面操作に関する権限設定が行えること。
27			⑮すべての機能にログインID、ユーザ名、機能名称、機能IDが表示されること。
28			⑯大学ごとに代表者名、住所を管理でき、大学印鑑画像は10ファイル以上管理できること。
29	2 学務システム	基本要件	⑰本学独自の拡張項目を学籍、教員、出身校、健康診断で管理でき、拡張項目の随時及び一括登録、個別及び一括出力できること。拡張項目は文字列だけでなく、数値及びリスト形式が作成できること。同一拡張項目であっても履歴管理できるようNo.を自動付番して登録できること。
30			⑱学校基本調査用帳票7から21号を出力できる機能を有すること。
31	2 学務システム 2-1 教務業務	1 学籍マスターテーブル 管理機能	①以下の情報の管理ができること。 管理番号、学籍番号、学生指名（漢字、カナ、英語）、顔写真、旧姓、性別、生年月日、国籍、本拠地（当道府県）、住所等情報（郵便番号、住所、電話番号、携帯電話番号、E-mailアドレスをいう。以下同様）、実家住所（郵便番号、住所、電話番号）、保護者名、保護者の住所等情報、学部（キャンパス）、課程、専攻、所属、カリキュラム所属、クラス、学年、入学年度、入学年月日、卒業・修了予定年月日（科目等履修生・研究生）、卒業判定年月日、適用入学年度、学生区分（学部学生、大学院生、科目等履修生、研究生などの区分）、担当教員履歴、卒論テーマ、大学受験番号、入試区分（推薦、前期、後期、特別選抜）、出身校、出身地、学位記番号、免許、賞罰、留学生区分、既往歴、アンケート結果、卒業後の進路状況
32			②学生異動処理機能 以下の異動処理を、入学後も保持できること。また、異動区分は本学で設定、変更及び削除ができること。 A.卒業、修了、退学、除籍、転出学、聴講修了、専攻修了 B.休学、留年、留学、転科、進級

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
33			③各種名簿等作成機能 学生名簿、異動者一覧、学生宛名ラベル、クラス名簿を作成（CSVファイルを含む）及び印刷ができること。
34			④学生検索機能 学籍番号、氏名だけでなく、住所、出身地検索が可能（部分一致検索を含む）であること。
35			⑤学生区分（入学種別および就学種別）については、本学で設定・変更・削除が可能で、かつ種類を追加できること。
36			⑥卒業、修了、除籍、転校対象者の学籍について、継続して管理できること。また、これらの情報についても、参照・検索ができること。
37			⑦学籍マスターテーブルと保証人情報（区分、氏名、住所等情報）を分離して保持し関連させるための構造を持つこと。
38			⑧指定した未来の日付時点の学籍情報が確認できること。
39			⑨学籍情報変更履歴を出力でき、過去の値も確認できること。
40			⑩学籍情報は、基本情報、異動情報、担当教員、顔写真ファイルを一括登録できること。
41			⑪WEB上で、学生が自分自身の基本情報を確認と変更申請ができ、職員承認後、申請情報を一括で基幹システムに登録できること。学生申請時は担当職員向けにポータル掲示およびメール配信できること。
42		2 カリキュラム編成・授業管理機能	①カリキュラム上の科目情報と授業開設上の開講授業情報を独立して保持することができること。
43			②科目情報は、科目コード、科目名（漢字、カナ、英語）、単位数、授業種別（講義・演習・実験・実習）、科目ナンバリングの基本情報と、卒業判定・資格判定に必要な組織コード、履修基準上の科目分類コード、資格上の科目分類コード、適用入学年度を分離して保持し、関連させるための構造を持つこと。
44			③科目情報の読み替えにおいて、科目名称や配当学年、単位数のみの読み替えの場合、1科目情報として保持し、別途読み替えデータの設定が不要であること。
45			④授業情報は、基本情報である授業コード、科目コード、科目名（漢字、カナ、英語）と開設情報である授業コード、開設年度、学期、授業区分（毎週、集中）、曜日、校時、担当教員を独立して保持し、関連させるための構造を持つこと。
46	2 学務システム	2 カリキュラム編成・授業管理機能	⑤年度を跨った授業についても設定可能なこと。
47	2-1 教務業務		⑥重複チェックについては、時限ではなく、時間（日時）レベルでのチェックができること。（時間割について、30分授業や135分授業など、イレギュラー開講の設定ができること）
48			⑦科目毎に履修条件（履修制限を含む）の設定ができること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
49			⑧科目一覧、授業情報一覧、教員別授業情報一覧、履修条件一覧の作成（CSVファイルを含む）及び印刷ができること。
50			⑨一科目に対し、複数の教員や複数の講義場所の設定ができること。
51			⑩科目配当において、GPAの対象とするかどうかの選択ができること。また、この項目で「対象としない」とした場合、その成績用科目分類は、GPA計算時の対象外であること。
52			⑪科目配当は、CSV指定による一括登録ができること。
53			⑫履修の条件として、「Aの科目群から○単位以上、Bの科目群から△単位以上」といった科目群を前提に指定ができること。（卒業研究などの条件として使用）
54			⑬教員毎、授業毎に休講情報を出力することができること。
55			⑭試験の座席表や席札を作成する元データとして、試験受験者情報をCSVで出力ができること。
56		3 履修管理機能	①学生別履修登録機能または授業別履修登録機能とOCR用紙を用いた履修一括登録機能を有すること。かつWEB履修登録に対応ができること。
57			②学生からの履修申請は、直接データベースに登録されること。また履修条件、重複履修、履修申請漏れ、履修単位数の上限等のチェックを行うこと。チェックに関しては、教務システムで設定されている条件をそのまま引継ぎ、リアルタイムにチェックを行い、チェック結果を画面上に表示し確認できること。また、チェックは実行有無の選択ができること。
58			③成績評価平均制度（GPA制）に連動した履修登録上限設定（CAP制）による履修制限のチェックができること。
59			④履修チェックには学生の属性（例えばTOEICやブレースメンテストの結果など）に応じたチェックができること。
60			⑤学生からの履修申請時には関連する機能をフローとして進行ができること。
61			⑥学生別時間割表、履修者名簿(出欠簿を含む)、授業別受講者数一覧、未履修登録者名簿、教員別履修者名簿の作成(CSVファイルを含む)及び印刷ができること。
62			⑦WEBによる履修登録は、指定曜日/指定時限の授業をリストから選択して履修登録を行う選択型と、授業コードを入力して登録を行う入力型の選択ができること。
63			⑧6～7時間目や土日の授業開講、110分授業、4クール制等に対応できること。また、前述のことが実施されない間（例:5時間目までの開講や平日のみの授業開講、90分授業が実施されている間）は、当該機能を非表示にできること。
64			⑨WEBによる履修登録時、シラバスの参照が可能であること。また事前に確認していたシラバス情報のうち、マークを登録することで履修登録時にマーク登録授業を追加することができること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明	
65			⑩シラバスの内容は、授業コードが同一の場合前年度授業から今年度授業へ、また、ある授業から別の授業へコピーすることができること。さらにCSVで出力することができること。	
66			⑪シラバスのレイアウトは、ユーザ側で自由に設定ができること。また、レイアウトの割り当ては授業単位で一括指定ができること。	
67	2 学務システム 2-1 教務業務	3 履修管理機能	⑫履修抽選の希望登録ができること。また、抽選結果の表示および出力ができること。抽選処理については、ランダム抽選、先着締め切りに対応しており、学生は履修希望順位を登録できること。	
68			⑬履修登録期間中は、学生自身による修正が何度でもできること。	
69			⑭学期、年度が跨った授業を履修した場合、履修期間中は履修データとして保持されること。	
70			⑮履修登録の未完了者について画面上で照会でき、CSVとして出力できること。また、対象の学生に掲示を配信できること。	
71			⑯学生が履修したデータをCSVとして出力できること。	
72			⑰履修登録画面に新カリキュラムと旧カリキュラムの振替表を表示することができ、その一覧から履修登録も可能で、学生が簡単に履修登録をできるように配慮すること。	
73			⑱科目振替について設定ができ、1対N、N対1の複数振替ができること。	
74			⑲学生個人毎に他学部・学科組織、指定学年以外の受講許可ができ、履修登録できること。	
75			⑳職員による事前履修データを学生が変更や削除ができないように制限することができること。	
76			㉑セット履修（履修時にセットで登録させる授業）に対応できること。	
77			㉒職員が代理でWEB履修を行えること。また、学生の履修登録などの操作履歴が画面から確認できること。	
78			㉓履修チェックエラーは、すべてのエラー内容をメッセージとして学生が確認し自身で解消できること。	
79			4 成績管理機能	①成績一括登録機能、授業別成績入力機能、GPA計算機能（通算、年度ごと、年度学期ごと）を有すること。
80				②評価基準は、本学で設定、変更及び削除ができること。
81				③成績原簿、成績通知表、教員別成績評価一覧、学生別GPA一覧の作成（CSVファイルを含む）及び印刷ができること。
82				④科目の振替処理ができること。
83				⑤WEBによる成績入力及び成績照会ができること。
84	⑥成績を入力する際、点数入力か評価コード入力かを選択できること。また、授業毎にCSV指定による採点データの一括登録ができること。			
85	⑦成績を入力する際、学生の異動状態（休学）が自動的に表示されること。			

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
86			⑧成績を入力する際、採点入力した学生の評価割合を授業毎に参照でき、入力後の確定を教員が行うことができること。複数教員で担当している場合は、他教員の評価も参考にできること。
87			⑨採点期間が終了しても、採点結果の参照が可能であること。
88			⑩追・再試験の採点入力ができること。また、試験回数も設定できること。
89			⑪「放棄」「認定」の成績評価について、教員が入力できること。また、教員による入力可否を制御できること。
90			⑫全員の成績入力が完了していなくても保存できること。
91			⑬出欠情報の登録管理ができること。
92			⑭学生毎の科目振替パターンが確認できる帳票が出力できること。
93		5 卒業・資格判定機能	①卒業判定（見込判定を含む）、資格判定（見込判定を含む）機能、進級判定（見込判定を含む）機能を有すること。また、これらの設定条件一覧資料の作成（CSVファイルを含む）及び印刷ができること。
94			②上記設定条件は、入学適用年度毎に本学で設定及び設定変更ができること。
95			③卒業判定資料（履修基準毎の単位数を表示、不可者も表示）、卒業者一覧、資格判定結果資料、進級判定結果資料を作成（CSVファイルを含む）及び印刷ができること。
96			④学生自身がWEBによる進級見込・卒業見込判定ができること。
97			⑤資格判定は教職課程と博物館学課程を別々に行えること。
98		6 証明書発行機能	①英文の在学証明書、卒業見込証明書、卒業証明書、成績証明書、在学期間証明書の作成ができること。
99	2 学務システム	6 証明書発行機能	②証明書の文面については、自由に設定できる機能を有すること。
100	2-1 教務業務		③日付については、西暦・和暦が選択できること。
101			④大学印を印字した各種証明書の出力ができること。
102		7 教職員情報管理機能	①教職員情報（教員コード、氏名、役職、住所等情報、所属情報）を登録（一括登録を含む）及び管理ができること。
103			②教職員情報の照会・検索機能を有すること。
104	2 学務システム	1 問合せ情報管理	①問合せ者区分を管理することができること。
105	2-2 入試業務		②問合せ者が利用する募集媒体管理ができること。
106			③募集媒体別人数表、応募種別別人数表、募集媒体別費用対効果表、問合せ者統計表の出力ができること。また、集計範囲の指定に使用する分類コードの桁数（大・中）を管理することができること。
107			④募集媒体の情報は、募集媒体コード、業者コード、募集媒体名称、募集媒体カナ名称、募集媒体略称が管理できること。また、募集媒体一覧の作成（CSVファイルを含む）及び印刷ができること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
108			⑤応募種別（問合せ者の応募方法や手段）に関する情報を管理することができること。また、応募種別一覧の作成（CSVファイルを含む）及び印刷ができること。
109			⑥問合せ情報管理機能 以下の情報の管理ができること。 志願者番号、氏名（カナ、英語、Web上公開用氏名）、入試対象年度、入試対象学期No、生年月日、性別、国籍、本籍、出身地、地区、電話番号、携帯電話番号、FAX番号、郵便番号、住所（漢字、カナ）、E-mailアドレス、連絡先、出身校コード、出身校等情報（出身校コード、出身校名称、出身校課程、出身校学科、出身校入学年、卒業年月【見込】、浪人年数）、保証人情報（保証人種別、保証人続柄、氏名（漢字、カナ）、郵便番号、住所（漢字、カナ）、電話番号、携帯電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、連絡先）、募集管理（枝番、問合せ年度、問合せ者区分、問合せ日付、募集媒体、応募種別、問合せ対応日付、問合せ対応者氏名、問合せ時学年、問合せ内容、問合せ時希望学科組織）。
110			⑦問合せ情報は、個別登録とCSV指定による一括登録ができること。
111			⑧問合せ情報一覧の作成（CSVファイルを含む）及び印刷ができること。なお、一覧作成時に出身地、出身校、募集媒体、問合せ日付を指定することができ、過年度の情報も出力することができること。
112			⑨問合せ者検索機能 問合せ年度、問合せ者番号、問合せ者区分、問合せ日付、入試年度、入試学期No、募集媒体、応募種別、出身校コード、出身校学科、国籍、本籍、出身地、地区から検索（部分一致検索を含む）ができること。
113			⑩問合せ者向けの宛名ラベル、募集媒体別人数表を作成（CSVファイルも含む）及び印刷ができること。
114			⑪当年度の問合せ情報の中で条件を選択して突合せを行い、同一人物の可能性のある問合せ者の一覧を作成（CSVファイルも含む）及び印刷ができること。
115			⑫同一の可能性のある問合せ者を検索し、同一人物と判断した場合は、問合せ情報を統合することができること。
116			⑬統合した問合せ情報を解除することができること。
117			⑭問合せ者と志願者の突合せを行い、同一人物の可能性のある問合せ者の一覧を作成（CSVファイルも含む）及び印刷ができること。
118			⑮問合せ者の情報と志願者の情報を突合わせ、同一人物の場合は問合せ者データを志願者台帳へ転記することができること。
119			⑯現年度、または過年度の問合せ者情報から、問合せ者統計表の作成（CSVファイルも含む）、期間内であれば過年度の問合せ者統計表の出力もできること。
120	2 学務システム	1 問合せ情報管理	⑰募集費用を管理することができること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
121	2-2 入試業務	2 志願者受付管理	<p>①入試要項管理機能 以下の情報の管理ができること。 段階選抜、選抜段階数、希望学科数、募集人員、センター学部、調整後集計上限値、入学予定日、受験資格（試験場チェック、卒業年月チェック、卒業年月下限、年齢チェック、年齢上限、評定平均値チェック、評定平均値下限、教科情報（教科番号、名称、略称）、選考科目、加算配点、必要最低点、センター試験大問別請求、高得点順位、試験情報（日程、採点方法、素点満点、配点、換算点上限値、リスニング（素点満点、配点）、選択時期、採点必須/任意、自動採点、成績公開可否、偏差値計算、成績集計、欠席者の扱い、段階選抜回数）</p>
122			<p>②教科、科目や得点情報の登録・更新・削除を行うことができること。また、入試要項の情報は、入試年度、入試学期、入試種別、学科組織毎に登録を行うことができること。</p>
123			<p>③入試年度、入試学期、入試種別、学科組織を指定して、推薦指定校情報を管理することができること。</p>
124			<p>④一つの志願者番号に対して、複数の受験番号を管理（併願）することができること。また、併願希望順位の設定ができること。</p>
125			<p>⑤志願者管理機能 以下の情報の管理ができること。 入試年度、入試学期No、志願者番号、氏名（漢字、カナ、英語）、生年月日、性別、国籍、本籍、出身地、地区、電話番号、携帯電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、住所等情報（郵便番号、住所、連絡先、連絡先電話番号）、併願情報（受験番号、入試年度・学期、入試種別、第一希望学科組織、可否情報、試験場、センター試験試験場、センター試験受験番号、センター試験発行回数、欠格理由、出身校情報（出身校コード、出身校名称、出身校課程、出身校学科、センター試験出身校学科、出身校入学年、卒業年月（見込）、評定平均値、浪人年数）、保証人情報（保証人種別、保証人続柄、氏名（漢字、カナ）、郵便番号、住所（漢字、カナ）、電話番号、携帯電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、連絡先）、問合せ者情報（枝番、問合せ年度、問合せ者区分、問合せ日付、募集媒体、応募種別、問合せ対応日付、問合せ対応者氏名、問合せ時学年、問合せ内容、問合せ時希望学科組織）</p>

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
126			⑥受験者管理機能 以下の情報の管理ができること。 受験番号、志願者番号、候補範囲、氏名（漢字、カナ、英語）、生年月日、性別、国籍、本籍、出身地、地区、電話番号、携帯電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、住所等情報（郵便番号、住所、連絡先、連絡先電話番号）、試験情報（第一希望学科組織、第二希望学科組織、試験場、センター試験試験場、センター試験受験番号、センター試験発行回数、成績公開、入学時学年、入学時セメスタ、入学種別、就学種別、志願者登録日付、教科情報（教科番号、選択教科条件、採点必須、教科、科目）、希望学科情報（希望順位、学科組織）、出身校情報（出身校コード、出身校名称、出身校課程、出身校学科、センター試験出身校学科、出身校入学年、卒業年月（見込）、評定平均値、浪人年数）、保証人情報（保証人種別、保証人続柄、氏名（漢字、カナ）、郵便番号、住所（漢字、カナ）、電話番号、携帯電話番号、FAX番号、E-MAILアドレス、連絡先）
127			⑦志願者および受験者数の日計表を出力できること。また、入試種別、学科組織を指定することができること。
128			⑧入試教室、試験時間割、試験教室割当、志願者試験教室割当を管理することが可能であること。
129			⑨所属学科組織、入試要項、推薦指定校情報、受験番号付番条件、志願者情報、併願者情報、入試教室情報、試験教室割当条件、試験教室別志願者情報、志願者宛名ラベル、受験番号札の一覧を作成（CSVファイルも含む）及び印刷ができること。
130	2 学務システム 2-2 入試業務	2 志願者受付管理	⑩推薦指定校向け通知書、推薦決定・停止の各種通知書、推薦依頼書の文面については、自由に設定できる機能を有すること。
131		3 入試成績管理	①入試採点情報（得点、および評価）、欠席者、志願者調整点は個別登録とCSV指定による一括登録ができること。
132			②複数学科で同一志願者を判定する際に、受験番号を分けても採点結果をそれぞれの受験番号に反映できること。
133			③志願者調整点は偏差値集計点に対する調整点の登録ができること。
134			④成績集計は、入試成績台帳の得点（換算点）をもとに偏差値計算を行うことができること。また、換算計算した得点と偏差値を志願者受験段階で集計することができること。
135			⑤科目点分布表は、刻み点を指定して科目毎の得点の人数が集計することができること。
136			⑥集計点分布表は、得点刻み毎に受験者の集計点を指定した人数を集計することができること。
137			⑦入試採点簿、成績未登録者情報、成績登録エラー情報、志願者の成績情報、科目別標準偏差（受験教科の科目別に、加算配点、標準偏差値、最低得点、最高得点、平均点を表示）の一覧作成（CSVファイルも含む）及び印刷ができること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
138		4 合否判定機能	①合否データに関しては、個別登録とCSV指定による一括登録ができること。
139			②成績集計の結果をもとに、志願者の第1希望学科組織についての合格ラインを判定することができること。
140			③合否判定資料を出力する際、氏名、受験番号、出身校を非表示にすることができること。
141			④複数の入試種類をグループ設定することができ、併願した情報（席次、集計点、合否）を確認できること。合否判定時には併願情報を加味して、複数合格するかしないかを画面で選択できること。
142			⑤合否判定資料、入試発行管理台帳、合否通知書、出身校向け合否通知書の一覧を作成（CSVファイルも含む）及び印刷ができること。
143			⑥受験者及び受験者の出身校向けの合格通知書（合格通知書、補欠通知書、不合格通知書）の文面については、自由に設定できる機能を有すること。
144			5 入学手続管理機能
145		②入学許可書の文面については、自由に設定できる機能を有すること。	
146		③入学手続日計表は、入試学期、入試種別、学科組織指定して入学手続を行った志願者の日計表（累計も含む）を出力することができること。	
147		④入学手続者の一覧、入学許可書を作成（CSVファイルも含む）及び印刷ができること。	
148		6 センター試験管理機能	①入試学期、入試種別を指定して、志願者の成績を大学入試センターに請求するための成績請求書と成績請求人数等内訳票を出力できること。
149			②大学入試センターから提供された志願者の成績CSVファイルをチェックしながら登録し、センター試験成績入力チェックリストを出力できること。
150			③大学入試センターから提供された志願者の出願状況CSVファイルをチェックし、まとめてセンター試験併願台帳に登録できること。
151			④センター試験併願状況一覧、センター試験出願・合格状況請求書の作成（CSVファイルも含む）及び印刷ができること。
152			⑤大学入試センター向けの本学の合格者等に関するテキストデータ及び「合格者データ送付書」を出力できること。
153			⑥志願者の他大学における合格状況等に関する資料を大学入試センターに請求するための出願・合格状況請求書を出力できること。
154	2 学務システム 2-2 入試業務	6 センター試験管理機能	⑦本学の志願者の中から、他大学を併願し、かつ他大学へ合格している受験生の入学手続状況を確認するためのセンター試験入学手続状況情報交換票を出力できること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
155			⑧大学入試センターから提供された志願者の合格状況CSVファイルをチェックし、一括で志願者台帳、センター試験併願者台帳に登録できること。
156			⑨大学入試センターの制度改正があった場合に標準機能として無償対応版を提供すること。
157		7 入試締め処理	①合格者データを在学生として教務システムに流すことができること。（一元管理されていること。）
158			②入学手続きをしていない学生については、教務システムに流さないといった指定ができること。
159		8 入試広報機能	①高校卒業年別の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を出力できること。
160			②出身校別の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を出力できること。
161			③評定平均値ランク別の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を出力できること。
162			④国籍、地区、出身地、出身校の所在地別の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を出力できること。
163			⑤浪人年数別及び出身地別の志願者数、受験者数、合格者数、入学者数を出力できること。
164			⑥統計用データ（志願者基本情報、志願者成績情報、志願者合否情報、志願者手続情報）を出力できること。
165	3 ポータルシステム 3-1 教務支援	1 掲示・ポータル機能	①Microsoft Internet Explorer 11、Edge、Mozilla Firefox（最新版）、Safari（最新版）、Chrome（最新版）から全ての操作が行えること。
166			②学生、教員、職員、保護者向けポータル機能を有すること。
167			③ポータル機能では教員及び学生向けに日英対応が必要とされる機能（シラバス、履修、成績）については、標準対応できること。
168			④職員は、他ユーザに成り代わって他ユーザと同じ画面を確認できること。また誰がどの機能でボタン操作したかを画面で確認できること。
169			⑤学生ポータルには、スケジュール管理、履修した授業情報、お気に入りリンク、休講等の掲示内容が表示されること。
170			⑥教員ポータルには、スケジュール管理、担当授業の情報、お気に入りリンク、休講等の掲示内容が表示されること。
171			⑦ポータルに表示される内容（行数、タイトル等）については、職員が自由に設定できること。
172			⑧掲示にマークをはることができ、マークをはった掲示、重要な掲示、既読/未読、期限のある掲示を切り替えて表示できること。
173			⑨スケジュールに表示される休日・イベント情報については、当日授業を開講する/しないという切り替えができること。
174			⑩掲示の内容（カテゴリ）ごとに承認者の設定を行えること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
175			⑪配信する掲示情報にはファイルの添付ができ、受信者はその添付ファイルをダウンロードできること。また、掲示情報に申し込み設定を行うことで、配信者は掲示情報を確認して申し込みをした受信者を確認できること。
176			⑫掲示情報作成時は、事前に登録したテンプレートから掲示内容を選択できること。
177			⑬掲示情報は、配信対象としてメール、掲示、もしくはその両方を選択できること。また、掲示配信時に即配信するか、定時に一括配信するか設定できること。メールアドレスは利用者が設定できること。
178			⑭掲示配信者のリストを確認でき、掲示の開封日時および開封状況を参照できること。
179			⑮業務担当者は、学内イベントについての情報を登録できること。ここで学内イベントとは以下の項目を指す。 A: 大学祭やオリエンテーションキャンプ等の全学的に終日開催される行事 B: 学外実習や特別講演会等の特定の学年あるいは学科組織のみに関わる行事
180	3 ポータルシステム 3-1 教務支援	1 掲示・ポータル機能	⑯学内イベント情報としてイベント名、開催時期、会場、概要、学生・年・学科組織等のユーザ区分に応じた対象者を登録できること。
181			⑰学生自身に関わる学内イベントに関する情報がカレンダー機能で確認できること。
182			⑱カレンダー情報は、一覧表示、日付別表示ができること。
183			⑲教職員は、学内イベントに関するすべての情報をカレンダー機能で参照することができること。
184			⑳お知らせの配信機能を有し、教員・職員から学生個人あるいは学科組織・学年・授業履修者、担当学生単位でメッセージ送信あるいは呼び出し通知等ができること。
185			㉑教職員は、条件を入力した項目に該当する開講授業を絞り込み、授業時間割が一覧形式、カレンダー形式で表示できること。
186			㉒職員は、条件を入力した項目に該当する教員を検索し、選択した教員の授業時間割が一覧形式、カレンダー形式で表示できること。
187			㉓教職員は、条件を入力した項目に該当する学生を検索し、選択した学生の授業時間割が一覧形式、カレンダー形式で表示できること。
188			㉔Q&A機能により、教職員と学生がコミュニケーションを図れる機能を有すること。
189			㉕複数機能をフローのように次の機能への操作を促す遷移機能があること。 (例) 履修登録後に卒業見込判定や成績機能へフロー表示ができること。
190		2 アンケート機能	①WEBアンケート、授業評価機能では回答結果による分岐、必須回答、添付ファイルを設定できること。
191			②Q&Aやアンケート、授業評価アンケートの設問内容は自由に作成できること。
192		3 休講情報登録	①学生の履修登録情報に対応した休講・補講・教室変更に関する情報が一覧に表示されること。
193			②休講・補講および学生呼び出し等についての情報を、学生がメールで受信できる機能を有すること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
194			③教員は、担当授業分のみ情報を掲示板形式で参照できること。
195			④業務担当者は、すべての休講・補講・教室変更に関する情報を登録・修正・参照ができること。業務担当者は、科目別の休講記録を参照できること。また、補講などの時間割登録時に変更先時間割の履修者や教室の重複チェックができること。
196			⑤休講・補講情報についても他の掲示情報と同様、承認者を設けることができ、承認したものから学生へ公開することができること。
197		4 安否確認機能	①安否確認の設問内容として、選択形式・テキスト形式回答など柔軟な設問が設定できること。
198			②安否確認の配信対象は、学年や所属学科、個別指定など配信対象者を指定できること。
199			③配信対象者は、学生だけでなく教職員にも配信できること。
200			④安否確認を登録すると学生の携帯へ配信した旨のメール通知ができること。
201			⑤再配信回数を指定し、未回答者のみへ複数回の再配信が行えること。
202			⑥指定した回数以上の再配信が必要になった場合は、適宜手動にて再配信が行えること。
203			⑦安否確認を回答するまでは、ログイン後のTOPIに質問内容が表示されること。
204			⑧回答結果をCSVで出力できること。また、未回答者のリストも抽出できること。
205			⑨電話や窓口で直接学生からヒアリングした結果を職員が代理で登録することができること。
206			⑩集計結果をすぐに表示できること。
207			⑪以前配信した安否確認をコピーし、流用することができること。
208		5 教室・施設管理機能	①教職員/学生が時間単位で教室、施設を予約することができること。
209			②教室/施設単位で責任者を設定することができ、予約を行う際には承認者を設定することができること。
210			③授業の教室変更、時間割変更情報と教室/施設予約状況は、リアルタイムに連携していること。
211	3 ポータルシステム	5 教室・施設管理機能	④教室/施設の予約を行う際、備品情報などの添付ファイルをアップロードすることができること。
212	3-1 教務支援		⑤大学側が任意で設定したキーワードで教室検索ができること。
213			⑥教室予約を一括で登録可能であること。
214			⑦月単位での教室使用状況を確認できること。
215			⑧利用不可日設定を教室ごとに曜日単位で設定できること。
216			⑨時間割変更、休講、補講と連携しており対象者へ掲示配信することが可能であること。
217	3 ポータルシステム	1 課題管理機能	①授業の履修学生に対して課題を作成することができること。
218	3-2 教育支援		②学生が提出した課題を確認することができ、コメントと評価を記載することが可能であること。
219			③課題の提出状況の一覧をCSVで出力ができること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
220			④学生が提出した課題を一括でダウンロードできること。また、未確認の課題のみダウンロードする制御もできること。
221			⑤課題の提出期間をポータルシステム上から設定することができること。
222			⑥添付ファイルをアップロードすることができること。
223			⑦作成した課題の一覧より履修者数、課題の提出者数が参照できること。
224			⑧課題の採点結果を学生に公開するか否かを課題単位で制御することができること。
225			⑨課題公開時に学生に掲示配信を行うことができること。
226			⑩課題の再提出を受け付けることができること。
227			⑪担当授業において他の教員が作成した課題を参照することができること。
228			⑫複数ある課題をグループ化して管理ができること。
229		2 授業支援機能	①授業単位で利用できる履修学生と担当教員とのQ&Aやアンケート機能により、教員と学生がコミュニケーションを図れる機能を有すること。
230			②教職員がアンケートを作成し、学生の任意のグループ宛てにアンケートを依頼できること。なお、設問や回答の選択については自由に設定できること。
231			③アンケート機能について、開始日・終了日の指定ができること。
232			④アンケートの集計結果をCSV出力できること。
233			⑤課題資料、授業資料について履修学生に配布することができること。
234			⑥授業単位で利用できる開講日毎の履修学生からのレポート提出機能及び提出状況チェック機能を有すること。
235			⑦学生が履修中の授業内容やメモ、添付ファイル、参考文献を登録しておくことができること。
236			⑧履修登録後から終了まで履修学生一人ひとりの取り組み状況が確認できる機能を有すること。
237		3 出欠管理機能	①授業回数単位、履修学生単位のうちどちらでも出欠の登録・編集ができること。
238			②出欠情報の登録方法としては、授業毎の個別登録とCSV指定による一括登録ができること。
239			③CSV指定による一括登録時、登録結果をチェックリストで確認することができること。
240			④授業によって、出欠管理をするか否かを設定できること。
241			⑤出欠の取り直しを行うことができること。
242			⑥履修授業の出席率を確認することができること。
243			⑦学生毎に出席回数、欠席回数等の内訳が確認できること。
244			⑧成績照会時に出欠率の確認が可能であること。
245			⑨時間割の変更や休講・補講に柔軟に対応できること。
246			⑩学生及び保護者がポータルシステムから学生の出席情報を参照することができること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
247			⑪学生の出欠情報について、教員がポータルシステムから直接画面登録ができること。
248	3 ポータルシステム	1 学生カルテ機能	①担当学生に関する情報を、利用権限に応じて教員・職員が共有できるカルテ機能を有すること。
249	3-3 学生支援		②利用権限に応じて担当学生に関する情報（学籍情報、健康診断情報、履修成績情報、単位修得状況、GPA推移表、希望資格、学生が受けている奨学金、授業料減免、授業料納入の状況、アルバイト等）を1画面で確認することができること。
250			③学生の面談記録や活動記録を職員・担当教員が登録する機能を有し、情報を共有することができること。
251			④担当学生とのQ&Aを実施できる機能を有すること。
252			⑤学籍情報の条件検索として下記の項目で学生の検索ができる機能を有すること。（学籍番号、氏名、学年、セメスタ、入学年度、学科）
253			⑥修得単位やGPAの数値を条件に学生を検索することができること。
254			⑦履修登録を完了していない学生の検索ができること。
255			⑧出席率、欠席回数を条件に学生を検索することができること。
256			⑨学生が希望している資格の取得状況を条件に学生の検索ができること。
257			⑩学生の面談記録や活動記録に登録した内容をキーワード検索することができること。
258	3 ポータルシステム	1 スマートフォン利用機能	①スマートフォン用に最適化された画面であること。
259	3-4 その他		②iPhone、Androidスマートフォンに標準対応していること。
260			③学生ポータルへのログイン時はユーザIDとパスワードで認証を行うことができ、保護者もスマートフォン用に最適化された画面を利用できること。
261			④簡単ログイン機能（ユーザIDは初期表示とし、パスワードのみでログインができる。）を有すること。
262			⑤スマートフォンより学生がスケジュールを登録・参照することができること。
263			⑥スマートフォンより学生が履修登録・抽選希望登録をすることができること。
264			⑦スマートフォンより学生がシラバスを確認することができること。
265			⑧スマートフォンより学生が安否確認の回答をすることができること。
266			⑨スマートフォンより学生・保護者が掲示配信の参照をすることができること。
267			⑩スマートフォンより学生が授業評価アンケートの回答をすることができること。 （匿名性が担保された状態で行えること）
268			⑪スマートフォンより学生・保護者が学籍情報の変更申請ができること。
269			⑫スマートフォンより学生・保護者が学生時間割、試験時間割、健康診断、出欠確認、成績照会を参照することができること。

NO	機能項目	機能	機能仕様説明
270		2 スマートフォンアプリ機能 (本業務調達対象外)	①将来的に学生の利便性を考えたスマートフォン専用アプリの導入を検討しているため、現時点で提案システムと同一パッケージメーカーでスマートフォン専用アプリを有していること。
271			②大学もしくは短期大学で10校以上の稼働実績があること。
272			③アプリから導入するポータルシステムで受信するお知らせを、学生がプッシュ通知で受信する機能を有していること。
273			④掲示・学生時間割・出欠状況・シラバスを学生が確認可能であること。また、スマホサイトへの遷移が可能であること。